

難病保健活動の評価指標(平成27年度版)(1/3)

目的	評価枠組	指標案	現状評価	1年間の変化	根拠・必要な情報・資料	評価の方法・視点	備考
難病患者・家族が疾病を受け入れ、その人らしい療養生活を選択できる	構造	1. 最新の難病対策に関する情報を入手し、活用する体制がある	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病対策に関する情報の内容、回覧回数、回覧方法	都道府県から難病対策に関する最新の情報が保健所に回覧され、保健所内及び担当者内で業務に関連のある記事・資料が回覧されているかを評価する。	
		2. 難病対策事業の標準化を図るマニュアルが整備されている	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	都道府県が発行する「難病対策事業ガイドライン」、「難病患者支援マニュアル」等のマニュアル等	都道府県内で統一されたマニュアルおよびガイドライン等が整備されているかを評価する。	
		3. 在宅療養支援ネットワークの整備を発展させる計画がある	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	都道府県の重症難病患者入院施設確保事業(難病医療ネットワーク事業)の事業実績、保健医療福祉計画等における在宅療養支援ネットワークに関する計画 保健所における難病対策事業計画	都道府県における在宅療養支援ネットワークの整備状況、保健所における難病対策事業計画において、在宅療養支援ネットワークを整備する活動が含まれているかを評価する。	
プロセス	4. 患者の病状進行や療養状況を面接・訪問および関係機関による情報から把握・分析している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域ケアアセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 様式4(管轄地域における難病療養者に関する医療資源の概況と医療サービス確保状況の評価)	ALS等の保健師が支援する対象者に対して、面接、訪問、関係機関との連携調整等により患者の病状や療養状況を把握しており、これらの情報を集約して地域の課題を評価・分析しているかを評価する。		
	5. 患者・家族の疾病に対する認識・理解に応じて、適切な情報が得られるよう支援している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	保健師の面接、訪問等の相談実績(内容、回数等)および支援活動実績 関係機関の支援状況、患者・家族の反応の変化等	保健師による直接支援や、訪問看護等の支援者が対応できるように調整したり、関係機関の後方支援をすることで、患者・家族が適切な情報を得たり、自主的に得る力をつけたりできているかを評価する。		
	6. 必要に応じ、地域の中で同じような状況の患者・家族が出会う機会を調整している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	管轄内・外の患者・家族会等のリスト 疾患別の協力可能な患者・家族のリスト	療養生活が参考になる、ピアカウンセリングとして役立つ患者・家族又は家族会を把握し、必要に応じて紹介し、交流できる機会を調節できているかを評価する。		
	7. 患者・家族が十分に話し合って療養方針を決定できるように支援している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域ケアアセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)	保健師または訪問看護師等の関係機関が、患者・家族に対し療養方針について十分話し合う機会を持つことができ、必要な情報が得られるよう支援されているかを評価する。		
	8. 医療依存度・セルフケア能力・介護力・経済状態等に応じたサービスが導入されるよう支援している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域ケアアセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 関係機関の担当者・連絡先・特徴等のリスト	患者の病状進行、家族のライフステージを踏まえ、長期的な視野も含んだタイムリーなサービスが導入されるように、直接的または関係機関の後方支援を含む間接的な支援がされているかを評価する。		
	9. 介護保険法や障害者総合支援法等では網羅できない難病患者・家族のニーズに対応している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 保健師が支援している難病療養者の個票	医療保険、介護保険、障がい者施策等の既存の制度の利用状況を把握し、対象外の患者や不足分について、難病対策事業や自治体の独自事業等でカバーできるように、新たな社会資源の開発や地域づくりも含めた活動ができているかを評価する。		
	10. 患者・家族の生活の質(QOL)向上を考慮したケアプランが導入されるよう支援している	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 関係機関の担当者・連絡先・情報等のリスト 保健師が支援している難病療養者の個票	患者・家族の生活の質も含めたアセスメントを行い、ケアプランの作成および支援の提供について、関係機関が情報を共有し活動できるよう調整しているかを評価する。		

FI-6-2

難病保健活動の評価指標(平成27年度版)(2/3)

目的	評価 枠組	指 標 案	現状評価	1年間の変化	根拠・必要な情報・資料	評価の方法・視点	備考
難病患者・家族が疾病を受け入れ、その人らしい療養生活を選択できる	プロセス	11. 緊急・災害時に必要な物品・処置・連絡・避難手順等が整備され、定期的に指導・管理が提供されるよう支援している	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	患者・家族の緊急・災害時の準備状況に関する資料 関係機関の緊急・災害時の活動方針やマニュアル等の整備状況に関する資料 個別の災害を含めた支援・管理状況に関する資料	患者の急変時、介護者が介護できなくなったとき、台風や地震などの自然災害等の時の対応が患者・家族間で話し合わせ、個別の支援計画、日ごろの備えを含めた対応が、日常の支援の中で提供されるように調整されているか評価する。	
		12. 医療処置等の医学的管理が適切に提供されるようにサービス提供者の連携を図っている	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 支援チーム内の連携体制に関する資料	診断初期、特定症状(呼吸障害、嚥下障害等)発生時期、医療処置導入期、医療処置管理期などの状況に応じた医学的管理が提供されているか、特定の関係機関に偏らず、サービス提供に地域格差が少なくなるような活動が行われているか評価する。	
		13. 入退院時に療養方針・ケア計画等について医療機関と在宅支援チームの情報交換ができるよう支援している	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	入院時の医療機関への情報提供状況、退院時の調整会議の開催状況等に関する資料	入退院前の療養状況、入退院後の留意点等の健康上の課題、療養上の課題等を情報交換し、今後の療養方針やケア計画等について、医療機関と在宅支援チームの情報交換ができるよう調整されているか評価する。	
		14. 支援チーム内でケア計画等が確認・修正されるよう難病対策事業(訪問診療、支援計画策定・評価事業等)を活用している	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	訪問診療、支援計画策定・評価事業等の難病対策の実施状況、活動内容に関する資料	個別の事例の支援関係者が情報の共有を図る、ケアの留意点が変わる場合に協議するなど、ケア計画等が確認・修正される必要があるときに、難病対策事業を活用し、協議の場を提供したり、協議の方向性を確認したり、調整することができるか評価する。	
		15. 難病対策事業に難病に関する地域診断と目標設定を行うことを位置づけている	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	難病対策事業の実施状況、地域診断結果および難病活動計画等に関する資料	支援計画策定・評価事業等の難病対策事業において、定期的に地域の難病に関する課題を資料等を用いて協議する機会を位置づけ、担当者間で活動目標を設定、共有することができるか評価する。	
		16. 難病の地域診断に基づいた難病対策事業の実施計画が策定されている	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	難病対策事業の実施報告書、難病の地域診断資料、難病対策の実施計画書等の資料とそれらの関係性を示す資料	難病対策事業の実施計画が、例年通りの継続的なものにとどまらず、地域診断に基づく計画や、前年度の実績を踏まえた活動の修正を含む計画になっているか評価する。	
		17. 地域の医療福祉従事者の難病支援の水準向上を目指した研修会等を行っている	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	地域の関係機関の資質向上を目的とする研修会等の実施報告書	地域の難病対策に関する課題を踏まえ、関係機関の支援力向上、関係機関の連携強化、地域の難病支援課題の共有等の難病支援の水準向上を目指した事例を通じた支援や研修会等の集団を対象とする活動が行えているか評価する。	
		18. 関係者連絡会等において在宅医療への円滑な移行やネットワークの強化を意図した交流・連携を行っている	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	関係者連絡会等の実施報告書 地域課題と関係者連絡会等の実施内容との関連性に関する資料	難病対策事業以外の看護関係者、医療機関、ネットワーク会議等の連絡会等において、地域の医療ネットワークの課題を解決する目的で、在宅医療への円滑な移行やネットワーク強化を意図した交流会や連携会議等を行っているか評価する。	
		19. 難病の患者・家族会を育成・支援している	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	管内・外の患者・家族会のリスト、活動状況に関する資料 地域課題に応じた患者・家族会に関する検討資料	既存の患者・家族会の活動継続に関する支援、地域課題に応じた患者・家族会の新規設立支援等、難病の患者・家族会の育成・支援ができているか評価する。	
		20. 患者・家族を取り巻く地域の人々とのつながりを見直し、近隣者の力を活用できる地域づくりの支援を関係機関と連携して行っている	<input type="checkbox"/> 4:できている <input type="checkbox"/> 3:概ねできている <input type="checkbox"/> 2:あまりできていない <input type="checkbox"/> 1:できていない	<input type="checkbox"/> 5:改善した <input type="checkbox"/> 4:少し改善した <input type="checkbox"/> 3:現状維持 <input type="checkbox"/> 2:少し悪化した <input type="checkbox"/> 1:悪化した	地域の自治会等の活動実績や特徴に関する資料 事例を通じた地域ネットワーク形成に関する報告資料	患者・家族の近隣者に理解・協力を得る支援、自治会等の理解・協力を得る活動など、地域の共助力を向上させるような個別支援や地域づくり活動が実施できているか評価する。	

## 難病保健活動の評価指標(平成27年度版)(3/3)

目的	評価 枠組	指 標 案	現状評価	1年間の変化	根拠・必要な情報・資料	評価の方法・視点	備考
難病患者・家族が疾病を受け入れ、その人らしい療養生活を選択できる	結果 1	21. 必要な支援サービスが十分に活用できている患者・家族が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)	患者の病状及び進行状況、家族の介護力、ライフステージ等に応じた支援サービスの必要量及び内容に応じたサービスが提供され、関係者間で情報が共有できていると判断できる患者・家族の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。	
		22. 緊急・災害時の支援体制が整備されている患者・家族が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	患者・家族の緊急・災害時の準備状況に関する資料 関係機関の緊急・災害時の活動方針やマニュアル等の整備状況に関する資料 個別の災害を含めた支援・管理状況に関する資料	起こりうる緊急・災害の状況に応じた個別の支援プランが作成され、関係者間で情報が共有でき、準備が進められている患者・家族の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。	
		23. 医療関係者による的確な医学的管理が実施されている療養者・家族が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 支援チーム内の連携体制に関する資料	患者の病状、家族の介護力、療養状況に応じ、訪問看護師やかかりつけ医、専門医療機関による医学的管理が適切に行われていると判断できる患者・家族の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。	
		24. 療養方針・ケア計画等の共有・連携体制がとれている在宅支援チームが増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況) 様式3管内の訪問看護ステーションの概況	個別の事例に対する支援者間において、その事例の療養方針やケア内容、ケア計画等について、電話やメール等による連携や関係者会議等による情報の共有が図れているチームの割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。	
結果 2	25. 安心・安全な療養環境が整備されている患者・家族が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)	患者・家族の療養状況が把握され、必要に応じてタイムリーに支援が提供され、適切な医学的管理がされ、緊急・災害時の対策も取られている患者・家族の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。		
	26. レスパイト目的での入院が受け入れられる病床が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)、様式2ALS療養者支援に関わる難病対策事業の実施状況とその評価、様式4管轄地域におけるALS療養者に関する医療資源の概況と医療サービス確保状況の評価	レスパイト受入れに関する医療機関の情報が把握され、受け入れに対する課題を解決する対策がとられ、受け入れ可能な病床数が増え、患者・家族の満足度の高いレスパイト入院が経験できた患者・家族の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。		
	27. 難病の在宅療養に積極的に関与できる地域関係機関が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)、様式4管轄地域におけるALS療養者に関する医療資源の概況と医療サービス確保状況の評価	医療依存度の高い患者への支援に関与する、診断初期から継続的に関わるなど、これまで経験のない関係機関に対してフォローがされ、積極的に関わろうと協力体制を示す関係機関の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。		
結果 3	28. 希望する場所で療養できる患者が増える	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)	患者・家族の多様な療養ニーズに対応できる療養環境や支援体制が整備され、状況の変化に応じて療養環境を選択でき、患者・家族が希望する場所で療養できる患者の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。		
	29. 在宅における事故事例が減少する	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	インシデント・アクシデントレポート実績・内容分析資料	在宅療養におけるインシデント・アクシデントの報告体制が整備され、報告内容の分析により課題解決の対応が図られ、事故報告の事例の発生割合が前年度(定点)より減少しているか評価する。		
	30. 安定した在宅療養期間が延長する	□4:できている □3:概ねできている □2:あまりできていない □1:できていない	□5:改善した □4:少し改善した □3:現状維持 □2:少し悪化した □1:悪化した	難病の地域アセスメントツール様式1(在宅療養者の身体状況と医療サービス確保状況)	緊急訪問や緊急入院がなく、患者・家族の意思決定に基づく療養支援が段階的に提供され、安定して過ごせた日数の割合が前年度(定点)より増加しているか評価する。		

# 保健師による保健活動の質を評価するための評価指標

—産業保健分野—

(平成 27 年度版)

## 産業保健活動ワークシート（平成27年度版）(1/6)

テーマ	目的	評価	番号	指 標 案	1 十分にできている 2 まあできている 3 どちらとも言えない 4 あまりできていない 5 ほとんどできていない 6 該当しない	根拠となる具体的状況・取り組み状況	改善点	備考 保健師の活動以外に結果に影響をあたえた促進因子や抑制因子についても記載する	
一般定期健康診断を中心とした対応	健康状態に応じた就業のための対応・有所見者の抑制	構造評価	1	保健師が「仕事と健康の調和」の視点から活動できる役割を担っている					
			2	事後措置を含めた健康診断運用のための予算が確保されている					
		プロセス評価	3	健康診断結果や病気休業者の状況などの現状分析を行っている					
			4	労働者の健康に関与する職種や職制の役割が明確化され連携方法を確立している					
			5	事業場における職種や職制に応じた健康情報が適切に取り扱われるように、保健師が関与している					
			6	事業場の健康課題を明確にし、優先順位が付けられる					
			7	健康課題に対応した安全衛生に関する方針・規定・計画の策定・改訂に保健師が関与している					
			8	保健指導や就業の検討など事後措置に関する方法が確立している					
			結果1	9	健診の目的を理解した管理監督者や労働者が増加する				
				10	健診の受診率や再検受検率が増加する				

産業保健活動ワークシート（平成27年度版）(2/6)

テーマ	目的	評価	番号	指 標 案	1 十分にできている 2 まあできている 3 どちらとも言えない 4 あまりできていない 5 ほとんどできていない 6 該当しない	根拠となる具体的状況・取り組み状況	改善点	備考 保健師の活動以外に結果に影響をあたえた促進因子や抑制因子についても記載する
一般定期健康診断を中心とした対応	健康状態に応じた就業の抑制	結果2	11	健康状態の考慮されていない働き方の労働者が減少する				
			12	各自の健康状態に応じた適切な保健行動のとれる労働者が増える				
		結果3	13	一般健康診断の有所見者が抑制される				
労働災害・職業性疾病の発生防止	職業性疾病の予防・悪化防止・健康の維持	構造評価	14	使用有害物質等、仕事の特性に応じた取扱い責任者等担当者が育成・選任されている				
		プロセス評価	15	事業場の特性に応じた職場巡視を実施している				
			16	予測される災害・疾病防止に適切な作業環境測定等の実施状況を把握している、または関与している				
			17	予測される労働災害・疾病防止に適切な作業方法の導入状況を把握している、または関与している				
			18	予測される災害・疾病防止に適切な労働衛生教育の実施状況を把握し、関与している				
			19	予測される災害・疾病防止に必要な健康診断・就業上の措置の実施状況を把握している、または関与している				
			20	有害業務の状況と有害業務による疾病の発生状況を確認している				

## 産業保健活動ワークシート（平成27年度版）(3/6)

テーマ	目的	評価	番号	指標案	1 十分にできている 2 まあできている 3 どちらとも言えない 4 あまりできていない 5 ほとんどできていない 6 該当しない	根拠となる具体的状況・取り組み状況	改善点	備考 保健師の活動以外に結果に影響をあたえた促進因子や抑制因子についても記載する
労働災害・職業性疾病の発生防止	悪化防止・健康の維持・職業性疾病の予防	結果1	21	職場巡視結果の有効な改善事例が増加する				
			22	作業環境測定結果、生物学的指標、暴露濃度が維持・改善する				
		結果2	23	特殊健診有所見率が抑制ないし減少する				
			24	職業性疾病新規発生が防止される、または減少する				
		結果3	25	労働災害等により健康を害する労働者数が抑制される				
メンタルヘルス不調の抑制	いきいきと働く労働者が増加する ストレスをコントロールしている	構造評価	26	職場の状況にあったメンタルヘルス対策の予算が確保されている				
			27	メンタルヘルス不調を早期発見できる体制(仕組み、人材等)がある				
			28	傷病休業の補償制度がある				
		プロセス評価	29	労働者自身が活用できるストレスチェックのシステムや機会を提供している				
			30	メンタルヘルスに関する現状分析を行っている				

産業保健活動ワークシート（平成27年度版）(4/6)

テーマ	目的	評価	番号	指標案	1 十分にできている 2 まあできている 3 どちらとも言えない 4 あまりできていない 5 ほとんどできていない 6 該当しない	根拠となる具体的状況・取り組み状況	改善点	備考 保健師の活動以外に結果に影響をあたえた促進因子や抑制因子についても記載する
メンタルヘルス不調の抑制	いきいきと働く労働者が増加する	プロセス評価	31	こころの健康づくり計画に基づいた労働者・管理職向けのメンタルヘルス対策を行っている				
			32	安全衛生委員会等でメンタルヘルス対策を検討している				
			33	休業中の適切な対応方法・復帰までの段取りについての情報を関係者間で共有している				
		結果1	34	メンタルヘルス不調者の早期対応数が増加する				
			35	適切なプロセスを経て復帰する休職者が増加する				
			36	ストレス源となる職場環境の改善や業務の改善策が増加する				
		結果2	37	管理職からメンタルヘルス不調を疑われる部下の労務管理に関する相談件数が増加する				
			38	事業場内外の相談機関を知っている労働者が増加する				
		結果3	39	メンタルヘルスの不調による退職者数(あるいは新規休職者数)が減少する				
			40	職場復帰後の再休職者が減少する				



テーマ	目的	評価	番号	指 標 案	1 十分にできている 2 まあできている 3 どちらとも言えない 4 あまりできていない 5 ほとんどできていない 6 該当しない	根拠となる具体的状況・取り組み状況	改善点	備考 保健師の活動以外に結果に影響をあたえた促進因子や抑制因子についても記載する
過重労働による健康障害の防止	過重労働による健康障害の防止	構造評価	41	労働者の過重労働対策について、人事労務部門と健康管理部門で適切に連携する体制がある				
		プロセス評価	42	過重労働対策に関する事業場の方針が労働者への文書等によって周知されている				
			43	労働者の過重労働の状況を的確に把握している				
			44	過重労働者への適切な保健指導を実施している				
			45	過重労働対策推進に関する情報を組織にフィードバックしている				
			46	労働者の労働状況に応じた過重労働による健康障害防止策を実施している				
			結果1	47	過重労働対策に関する事業場の方針を知っている労働者が増加する			
		結果2	48	過重労働者における生活習慣病関連の有所見者数が減少する				
			49	脳・心臓血管疾患等による退職者数や死亡者数が抑制される				
		結果3	50	過重労働者数が減少する(年単位)				

産業保健活動ワークシート（平成27年度版）(6/6)

テーマ	目的	評価	番号	指標案	1 十分にできている 2 まあできている 3 どちらとも言えない 4 あまりできていない 5 ほとんどできていない 6 該当しない	根拠となる具体的状況・取り組み状況	改善点	備考 保健師の活動以外に結果に影響をあたえた促進因子や抑制因子についても記載する
生活習慣病予防	生活習慣病予防	構造評価	51	安全衛生や健康の保持増進について、適切に情報提供できる衛生管理者等の担当者が選任されている				
		プロセス評価	52	事業場として健康保持増進に関する方針を策定している				
			53	計画に基づいた健康保持増進対策[*注1]を展開している				
		結果1	54	生活習慣病予防に関する事業への労働者の参加率[*注2]が増加する				
			55	健康の保持増進について適切な知識を持つ労働者が増加する				
			56	健康的な生活習慣を持つ労働者が増加する				
		結果2	57	特定健康診査該当項目の有所見率の増加が抑制される				

注1:健康保持増進対策とは保健指導や健康教育、禁煙支援、食堂でのヘルシーメニューの提供

注2:参加率の母数は対象とする組織(部課、事業場等)の従業員数を母数とする。

平成 27 年度版

# 保健師による保健活動の質を 評価するための評価マニュアル

平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金  
政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）  
保健師のための保健活動の評価指標の検証に関する研究班  
研究代表者 平野 かよ子

平成 27(2015) 年 3 月

## 目次

1. 母子保健活動分野	.....	M-1-1
2. 健康づくり活動分野	.....	M-2-1
3. 高齢者保健福祉分野	.....	M-3-1
4. 精神保健福祉分野	.....	M-4-1
5. 感染症対策分野	.....	M-5-1
6. 難病保健活動分野	.....	M-6-1
7. 産業保健分野	.....	M-7-1

# 保健師による保健活動の質を評価するための評価マニュアル

## —母子保健活動分野—

(平成27年度版)

## 母子保健活動の評価マニュアル(H27年度版)(1/3)

目的	評価 枠組	評価 指標(H27)	根拠・資料	評価の考え方・視点
子育て中の親が健康で安心して子育てができる・発達障害・児童虐待の早期発見	構造・活動の基盤	1 市町村の母子保健計画に「安心して子育てができるまちづくり」が位置づけられている	各種保健関連計画	・市町村基本構想、母子保健計画、すこやか親子、子ども子育て計画等において「親が安心して子育てができる」ことが記載されている。 ・福祉部門が扱う母子保健関連の計画についての情報も共有する。
		2 住民に周知されている母子保健に関する総合的な相談窓口がある	子育てガイドブック 子育てアンケート結果 HP掲載 広報 病院での相談窓口案内 24h子育てホットライン	・母子保健、子育て相談の社会資源の整備状況を確認する。 ・住民にとって「利用しやすさ」、「身近かさ」、「窓口開設の時間帯」、「配置している職員数・職種」、「インターネットの掲載」等を評価する。 ・あらゆる相談(発達の遅れ、虐待等も含め)に対応できる相談窓口として機能している。
		3 発達障害及び児童虐待が疑われる児を早期発見できる体制(仕組み)がある	乳幼児健診・相談の体制	・乳幼児健診のチェックシートや専門職の配置などの体制について確認する。 ・スクリーニングのための力量を高める従事者の現任教育体制がある。 ・早期発見・早期介入のためにあらゆるルートから情報を得ることができる体制について確認する。
		4 保健師が地域に出向き、地区活動を行う時間が確保されている	家庭訪問記録・件数	・地区活動とは、地区把握、潜在する支援ニーズの発見、対象者や関係機関との関係性の構築、支援を求めない人へのアプローチなどを指す。 ・保健師の活動方針にある地区活動の中でも重要な家庭訪問や関係者へ訪問する時間が業務の中で確保され、職場内で認識されている。
		5 職場内に母子保健事業や活動の評価・見直しを行う場・会議がある	母子保健担当者会議 次世代育成会議 子ども子育て支援者会議 母子保健推進員会議	・母子保健検討会議の位置づけを明確にすることで、評価・見直しを行う時間と場が確保され、母子保健部門と児童福祉部門等で母子保健福祉対策の全体を把握している。 ・各部門の方針や活動について見直しと評価を行う会議がある。 ・担当だけでなく事業・活動計画を立てるのではなく、所内の関係部署と地域の子育てニーズを確認し、計画について意見交換ができる場・会議がある。
		6 保健と医療、福祉の関係者や住民と子育て支援について話し合う場・会議がある	医療機関との連絡会議 母子保健福祉関係者との会議	・地域の産科、小児科を含む医療機関との連携会議、地域の母子保健福祉関連の関係機関と連携し、協議するネットワーク、ケアシステムがある。
		7 母子保健のニーズを基とした予算が計上/確保されている	母子保健関連予算、補助金	・法定事業以外の地域ニーズに対応する予算(人件費なども含む)が確保されている。
		8 保健師(担当者)が助言を得る(相談できる)場・体制がある	定期的な研修会 事例検討会 教育機関との連携 地域の定例会への参加 管内の他職種・同職種との勉強会	・活動方針や活動の成果を明らかにするために、教育機関との連携、特に遠隔地において地域の現状に配慮した方法で遠隔通信システム等、保健師が助言、指導を得られる体制がある。 ・スーパーバイズを適時受けられる体制がある。
(32)	プロセス	地域診断		
9 保健師が地域の乳幼児と親の健康状態、相談内容を捉え、個別支援の必要な対象(フォローの必要な対象)を把握している	母子保健実績報告 相談記録 システム管理	・地域診断シートを参照:健康状態とは、出生率、健診結果や未受診者情報、親の心身の健康などで、日常の活動を通して支援の必要な対象を把握している。		

母子保健活動の評価マニュアル(H27年度版)(2/3)

評価指標		評価マニュアル		
目的	評価枠組	評価指標(H27)	根拠・資料 評価の考え方・視点	
子育て中の親が健康で安心して子育てができる・発達障害・児童虐待の早期発見	プロセス	10 保健師は子育て支援のための地域資源と支援者を把握している	子育てグループ等との会合の記録 子育てガイドブック ・自主グループや子育て支援団体を含む地域資源、児童福祉・社協など他部門が把握している情報も収集する。	
		11 母子保健に関する地域のキーパーソンや保育所・幼稚園、小児科医等と母子関連の情報交換を行っている	母子保健関係者会議録 保育園等訪問記録、ニーズ調査(計画策定時) ・日常の活動を通して把握した母子に関する情報と共に、地域の助産師や保育士、小児科医や看護師が持つ情報を適宜あるいは定期的に交換している。 ・子ども子育て支援計画等の立案時や見直し時に行う調査で把握する。	
		12 地域の母子保健に関するニーズの分析(地域診断・組織診断)を行っている	住民へのニーズ調査 保健師業務連絡会 ・母子保健のニーズの分析を行う関連部署や関係機関と地域診断シートを用いて行うことが、望ましい。分析は、「担当地区」及び「地域全体」で行う。	
		13 地域の関係者と母子保健の課題を共有し、達成目標を明らかにしている	子育て支援者等の会議録 関係者とは保健所、医療機関、保育所・幼稚園、児童委員、母子保健推進員、通所施設等で、これらの機関と課題について達成目標の合意形成を図る。	
	対象への働きかけ			
	14 母子保健の各種事業計画と保健師の地区活動計画を立て実施している	母子保健計画 ・国及び県の方針を踏まえ、地域の実情に応じた計画である。 ・計画には、保健師も参画している。 ・計画には、災害時、緊急時対応についても盛り込まれている。		
	15 個別支援(発達障害、虐待も含めた)が必要な児や親について母子保健関係者で支援方法を話し合い、支援計画を立て、実施している	健診後カンファレンス記録 担当者会議録 ・担当者がフォローケースを確定し、フォローの方法、頻度を協議し、フォロー結果を共有している。母子保健担当者は地区担当も含める。 ・グレーゾーンの事例に対しては、必要時、継続して関わる。(グレーゾーンの事例とは遅れや障がいなどが確定されておらず、福祉や医療のサービスが給付される条件は満たしていない事例を指す。) ・医療、福祉、教育機関等と情報共有している。		
	16 母子保健活動を通して生活習慣予防や生活環境整備など親の健康支援を行っている	母子保健実績報告 地域の自主組織の活動報告(母子保健推進員、愛育班、食生活改善推進員、健康づくり推進員、老人会等の活動等) ・保健師は、親子が自らの健康をコントロールし、生活や環境を改善できるように地域住民や関係者との協働を通して働きかけている。		
	17 子育て不安や成長発達の遅れが疑われる児をもつ親など課題を持った親が集まる場を設定している	健診後のフォロー教室 遊びの教室 グレーゾーン支援事業報告 ・親が交流できる場であり、かつ保健師が子どもの成長発達を確認できる場を設定している。 ・他部門が場の設定している場合は情報共有している。		
	18 子育て不安や成長発達の遅れが疑われる児の親のグループ育成に関わっている	フォロー教室記録 親のグループ支援記録 ・親へフォロー教室参加を勧め、教室での集団支援とともに、親のグループ育成のニーズを把握し、グループ化へ向け支援を行っている。あるいは、主体的な交流を促している。		
	人材育成			
	19 多世代(地域住民)に対して地域の子育ての課題を伝え、子育てを手助けするよう啓発している	母子保健推進員研修等の記録 ・地域住民が子育てに関心が高めるように、地域の子育て課題を伝える。 ・他部門と連携して、児童委員、母子保健推進員やNPOボランティア等の育成も行う。		
	20 職員・支援者に対する子育て支援の学習する機会を設け、受講者の活動の場を広げている	研修事業報告 事例検討の記録 事業終了後カンファレンス 受講者の活動報告 ・日常業務の中のカンファレンスや事例検討等により、職員・支援者の力量形成の機会を設けている。 ・支援者にはボランティアも含める。		

## 母子保健活動の評価マニュアル(H27年度版)(3/3)

評価指標		評価マニュアル	
目的	評価枠組	評価指標(H27)	根拠・資料 評価の考え方・視点
子育て中の親が健康で安心して子育てができる・発達障害・児童虐待の早期発見	プロセス	21 母子保健活動・事業を振り返り(評価・モニタリング)、成果と課題を明らかにしている	評価指標を用いた定例会議録 事業終了後のカンファレンス記録 ・日常の業務や事業の評価・モニタリングを行い、成果と課題を明らかにする話し合いを業務の一環として行っている。 ・定期的な評価、結果の公表を行っている。
		22 母子保健の地域診断を見直し、必要な活動及び資源を検討し、改善を図っている	母子保健関係者会議 医療・福祉助成事業 新設された社会資源 ・フォローしているケースに関わる者との話し合いの場に医療機関を含めた関係者の会議に参加している。 ・資源及び制度の不備・不足について検討し、改善を図っている。
	結果1	23 子どもを持つ親から「事業に参加してよかった」「保健師に会えてよかった」等の声が聞かれる	計画策定時のアンケート調査 事業終了時の聞き取りの記録 生の声、相談・訪問記録 ・事業終了時の利用者の感想(声)を把握し、記録している。 ・子ども子育て支援計画のアンケート調査を実施する。 ・親の知識、態度、行動が変わる。
		24 妊産婦・乳幼児の訪問実施率が向上する	保健師の訪問実績 ・母子保健対象者の状況を把握する。
	結果2	25 各種健診の未受診者の未把握数が減少する	母子保健実績報告 ・ハイリスクケースの把握に繋がる。
		26 母子保健関係者会議のネットワーク会議に参加する関係機関やグループが維持・増加する	ネットワーク会議録 (事例検討会議録、情報交換会記録を含む) ・母子保健の日常業務を通して、住民が支援者となることや支援グループに所属することを動機づける働きかけがなされ、他部門の事業への参加に繋がっている。 ・他部署との連携がネットワーク構築につながる。 ・母子に限らず多様に多世代の者(例:老人会など)が含まれることが望まれる。
		27 関係者との協働で解決された地域課題が増える	連携会議の記録
	結果3	28 子育てに関心を持ち、手助けする住民が維持・増加する	事業実績報告 地域の自主組織の活動報告 (母子保健推進員、愛育班、食生活改善推進員、健康づくり推進員、老人会等の活動等) ・自治体によっては、「地域づくり」は地域づくり課や社会福祉協議会の事業であろうが、それらと連携し情報共有を図ることも必要である。 ・住民力の向上を捉えようとするもので、子育てに関心を持ち、手助けする住民が増えることで、気になる子どもの情報が早期に保健師に届き、予防活動が推進することを示す。
		29 事例検討会を含む母子保健活動の評価・見直しの機会に参加する住民・関係者数が維持・増加する	会議録 母子保健事業報告 ・住民(児童委員・母子保健推進員)や保育士、産科・小児科医の参加者数を捉える。 ・個々の母子保健事業終了時に利用者の声、母子保健推進員の評価から把握する。
		30 周囲の力を借りて子育てが楽しいと思う親の数が増える	行政アンケート 健診時間診断 経年的地域診断 ・子育て支援の到達目標である「親が周囲の力を借りられ、前向きに子育てができる」親の数を捉える。
		31 必要十分な社会資源が地域に配備される	行政アンケート
		32 目標に掲げた母子保健指標が改善する	衛生統計年報 母子保健計画に載げたの達成目標の到達状況等から把握する。 例えば、全出生数の低出生体重児の割合など



地域診断の手引き～母子保健～(1/2)

事項	地域の状況(日常業務を通して把握できること・既存資料・調査から)
<b>地域の概況</b>	
人口	総数: 人 面積: km <sup>2</sup> 林野面積: 人口密度: 人/km <sup>2</sup> 世帯数: 世帯数の増減率: 世帯の家族類型及び1世帯当りの人員 昼夜人口比 年齢階級別人口割合: 年少 % 生産年齢 % 老年 % 死因別の死亡数(率)の推移
歴史 文化・風習	市町村制の制定: 年 市町村合併: 年 歴史
地勢(自然環境)	気候: 土地の利用状況: 大気汚染: 水質・水環境:
産業構造	就業者割合: 第1次 %、第2次 %、第3次 %
行政	財政力指数: 行政組織: 経常収支比率: 保健師の所属、役職、人数: 次世代育成計画: 施政方針とその計画内容: 目指す将来像:
国保加入率	国民健康保険加入者の課税所得の推移
所得	非課税世帯率: 生活保護の状況(保護世帯数、保護人員数(率)):
<b>地域資源(各種サービス資源)</b>	
保健・衛生	行政サービス 手帳の交付: 健康診査(身体・歯科):妊産婦、乳幼児: 相談、訪問(妊産婦・新生児・乳幼児): 各種教室: 地区組織活動: (愛育班 母子保健推進員活動 食生活改善推進員活動 健康づくり推進員活動等) 予防接種: 災害支援体制:
医療	医療施設 産科・婦人科・小児科: 歯科: 救急医療体制: 周産期医療体制: 在宅医療体制: 診療所: 訪問看護ステーション: 医療従事者数: 出産育児一時金制度: 育成医療給付制度: 児童手当:
福祉	福祉施設(入所・通所): 児童福祉施設: 知的障害: 身体障害: 児童自立施設: レスパイト施設: 地域生活支援センター: 子育て支援センター: 子育てサロン: 児童館: 保育園数: 保育士数: 病児保育所数: 民間企業の哺乳室等、子育て相談室:

地域診断の手引き～母子保健～(2/2)

事項	地域の状況(日常業務を通して把握できること・既存資料・調査から)
教育	<p>教育機関</p> <p>小学校: 生徒数: 教員数:</p> <p>中学校: 生徒数: 教員数:</p> <p>高等学校: 生徒数: 教員数:</p> <p>幼稚園: 園児数: 教員数:</p> <p>教育支援制度:</p> <p>特別支援教育:</p> <p>社会教育(青少年・成人):</p> <p>図書館:</p> <p>公民館:</p> <p>体育館:</p> <p>青少年センター:</p> <p>男女共同参画</p>
交通	<p>公共交通機関路線と時刻表:</p> <p>自家用車保有台数割合:</p>
治安・防災	<p>警察:</p> <p>交番:</p> <p>消防署:</p> <p>自主防犯活動:</p> <p>避難所:</p> <p>防災計画:</p>
公園等	<p>公園:</p> <p>遊び場:</p> <p>青少年スポーツセンター:</p> <p>季節のイベント:</p>
関係者の連携	<p>地域母子保健連携会議:</p> <p>要保護児童連携対策協議会:</p> <p>周産期医療連携会議:</p> <p>保、幼、小との連携の取り組み:</p>
<b>住民の活動・交流</b>	
交流	<p>住民の交流の場:</p> <p>祭り等の行事への参加:</p> <p>遊び場・レクリエーションの場:</p> <p>自治会:</p> <p>子ども会:</p> <p>老人会:</p> <p>ボランティア活動:</p>
身近な情報の収集・発信	<p>住民の身近な情報の入手方法: 回覧板、広報、地域放送、口コミ情報、行政HP、ポスター</p> <p>育児情報誌</p> <p>住民の情報発信の方法:</p>
政治活動	<p>議員の所属政党:</p> <p>住民のロビー活動:</p>
行政参加	<p>各種行政の委員会や計画作成への住民参加:</p> <p>民生児童委員:</p> <p>母子保健推進員:</p>
街の活気	<p>中心部(商店街等)の活気:</p> <p>交流の場の活気:</p> <p>休耕地:</p> <p>交通量:</p> <p>物流量等</p>
<b>地域の全体像</b>	
This area is intentionally left blank for a full-page overview of the region.	

母子保健・親子保健のデータ(1/2)

中項目	小項目	データ		
		H25	H26	H27
妊産婦	28週以降の母子手帳発行数(率)			
	未婚の妊婦届数と割合			
	妊娠高血圧症候群等医療費助成申請数			
	特定治療支援事業助成の申請数			
	死産数			
	周産期死亡数(率)			
	妊産婦死亡率			
	人工妊娠中絶数(率)			
	産後うつ病数(EPDS9点以上)			
	離婚率、婚姻率			
	若年・高齢出産者の状況			
	妊産婦歯科検診受診率			
	喫煙率、受動喫煙率、飲酒率			
乳幼児	出生数(率)			
	合計特殊出生率			
	低出生体重児の割合			
	先天性代謝異常児数			
	乳幼児死亡(率)			
	不慮の事故死亡率			
乳幼児・学童	小児慢性疾患児(率)			
	運動発達遅滞児数			
	発達障害児数			
	虫歯保有数(率)			
	肥満傾向児の割合			
	痩身傾向児の割合			
	虐待通報件数			
	虐待件数			
乳幼児・学童	いじめ件数			
	ひきこもり件数			
	家庭内暴力件数			

母子保健・親子保健のデータ(2/2)

中項目	小項目	データ		
		H25	H26	H27
保健事業	各種学級参加数			
	相談(内容・記録)件数			
	乳児健診受診率			
	幼児健診受診率(1歳6か月)			
	幼児健診受診率(3歳)			
	予防接種実施率			
	歯科保健受診率			
	フッ化物塗布実施者数(1歳6か月、3歳児)			
	子育て支援グループ数			
親の状況	子育て不安をもつ親の声			
	育児に参加する父親の割合			
	育児相談ができる親の割合			
子育て環境	遊び場、公園、親子が集える身近な場			
	住民の子どもの見守り			
	子育て中の親への声掛け			
	子育て支援ボランティア			
その他	母親の就労(共働き)割合			
	産休・育休制度の活用状況			
<b>母子保健の健康課題、活動・事業目標</b>				